

県内中小企業(製造業)景況動向

平成24年10月～12月期

本会調査結果概要



業種別景況動向

食料品

4-6	7-9	10-12	来期見通
			
▲5.8	▲21.7	▲28.6	▲26.5

前年同期比の売上高DIは▲14.3、収益性DIは▲42.8で、両方を合わせたDI平均値は▲28.6となり、「小雨」模様が継続している。来期見通しは、2.1ポイント上昇して▲26.5となり、「小雨」模様が続く見通しになっている。

なお、前期比の売上高DIは11.5、収益性DIは▲27.6となった。

また、雇用人員判断DIは▲3.3、設備操業率DIは17.8、設備投資実施率は21.2%となった。

繊維・同製品

4-6	7-9	10-12	来期見通
			
▲20.1	▲24.3	▲30.0	▲23.3

前年同期比の売上高DIは▲26.7、収益性DIは▲33.3で、両方を合わせたDI平均値は▲30.0となり、「小雨」模様が継続している。来期見通しは、6.7ポイント上昇して▲23.3となり、「小雨」模様が続く見通しになっている。なお、前期比の売上高DIは▲23.3、収益性DIは▲15.0となった。

また、雇用人員判断DIは4.8、設備操業率DIは▲14.2、設備投資実施率は10.3%となった。



概況

売上高と収益性を合わせたDI平均値（前年同期比）については▲27.6となり、前回調査（24年7-9月期）から16.5ポイント下降している。来期見通しにおいては、▲26.5となっている。

売上高DI（前年同期比）については▲24.0となり、前回調査から14.5ポイント下降している。来期見通しにおいては、▲24.3となっている。

設備操業率については、前期比で「上昇」したとする企業が12・

0%、「下降」したとする企業が22.2%で、DIについては▲10.2となり、前回調査から2.3ポイント上昇している。収益性DI（前年同期比）については▲31.1となり、前回調査から18.5ポイント下降している。来期見通しにおいては、▲28.6となっている。

業況（前年同期比）については、「好転」したとする企業は9.3%、「悪化」したとする企業は36.6%で、DIは▲27.3となり、前回調査から15.7ポイント下降している。来期見通しにおいては▲27.2となっている。

原材料価格DI（前期比）については4.8となり、前回調査から5.4ポイント上昇している。販売価格DI（前期比）については▲9.3となり、前回調査から0.5ポイント上昇している。資金繰りDI（前期比）については▲15.0となり、前回調査から3.4ポイント下降している。

金融機関の態度DI（前期比）については▲3.2となり、前回調査から3.2ポイント下降している。設備投資実施率については21.6%となり、前回調査から2.1ポイント下降している。

紙・加工品

4-6	7-9	10-12	来期見通
			
▲28.8	▲47.1	▲38.3	▲16.1
前年同期比の売上高D Iは▲50.0、収益性D Iは▲26.6で、両方を合せたD I平均値は▲38.3となり、「雨」模様が継続している。来期見通しは、22.2ポイント上昇して▲16.1となり、「小雨」模様に転じる見通しになっている。 なお、前期比の売上高D Iは12.5、収益性D Iは▲12.5となった。 また、雇用人員判断D Iは13.3、設備操業率D Iは▲7.2、設備投資実施率は12.5%となった。			

木材・木製品

4-6	7-9	10-12	来期見通
			
▲50.0	▲38.9	▲16.7	▲25.0
前年同期比の売上高D Iは▲11.1、収益性D Iは▲22.2で、両方を合せたD I平均値は▲16.7となり、「小雨」模様に転じている。来期見通しは、8.3ポイント下降して▲25.0となり、「小雨」模様が続く見通しになっている。 なお、前期比の売上高D Iは▲11.1、収益性D Iは▲33.3となった。 また、雇用人員判断D Iは▲12.5、設備操業率D Iは▲33.3、設備投資実施率は0.0%となった。			

金属・同製品

4-6	7-9	10-12	来期見通
			
15.8	▲1.4	▲26.3	▲38.1
前年同期比の売上高D Iは▲30.0、収益性D Iは▲22.5で、両方を合せたD I平均値は▲26.3となり「小雨」模様に転じている。来期見通しは、11.8ポイント下降して▲38.1となり、「雨」模様に転じる見通しになっている。 なお、前期比の売上高D Iは▲20.5、収益性D Iは▲35.7となった。 また、雇用人員判断D Iは▲20.7、設備操業率D Iは▲32.1、設備投資実施率は28.9%となった。			

窯業・土石製品

4-6	7-9	10-12	来期見通
			
▲42.5	19.6	▲12.5	7.5
前年同期比の売上高D Iは▲10.0、収益性D Iは▲15.0で、両方を合せたD I平均値は▲12.5となり「小雨」模様に転じている。来期見通しは、20.0ポイント上昇して7.5となり、「曇」模様に転じる見通しになっている。 なお、前期比の売上高D Iは25.0、収益性D Iは5.8となった。 また、雇用人員判断D Iは0.0、設備操業率D Iは11.8、設備投資実施率は30.0%となった。			

プラスチック製品

4-6	7-9	10-12	来期見通
			
10.0	▲8.3	12.5	▲37.5
前年同期比の売上高D Iは25.0、収益性D Iは0.0で、両方を合せたD I平均値は12.5となり、「薄日」模様に転じている。来期見通しは、50.0ポイント下降して▲37.5となり、「雨」模様に転じる見通しになっている。 なお、前期比の売上高D Iは▲25.0、収益性D Iは▲25.0となった。 また、雇用人員判断D Iは0.0、設備操業率D Iは▲50.0、設備投資実施率は50.0%となった。			

機械・機器

4-6	7-9	10-12	来期見通
			
4.6	1.1	▲35.2	▲36.9
前年同期比の売上高D Iは▲28.5、収益性D Iは▲41.8で、両方を合せたD I平均値は▲35.2となり「雨」模様に転じている。来期見通しは、1.7ポイント下降して▲36.9となり、「雨」模様が継続する見通しになっている。 なお、前期比の売上高D Iは▲18.6、収益性D Iは▲31.6となった。 また、雇用人員判断D Iは▲20.5、設備操業率D Iは▲13.5、設備投資実施率は23.8%となった。			